

現代フランス・ナイーブ派絵画展

—ファンタジーで メルヘンな仲間たち—

ナイーブ派の絵とは、19世紀から20世紀にかけて、画家を職業とせず、専門的な美術教育を受けたことのない作家により制作された、素朴さや独創性が際立つ作品です。

ナイーブ派絵画の元祖と言われるアンリ・ルソーは、自分の楽しみのために、独学で絵画を描き始めました。自分の描きたいものを見失わず、心から楽しんで描くことを続けた彼の作品は仲間うちで評判になり、やがてピカソやアポリネールなどの巨匠たちにも注目されるようになりました。美術学校で教えられるやり方に従って人物に量感を与えたり、遠近法を駆使することをしなくても、面白い絵は描けることを人々は気付いたのです。

ルソーを中心とするナイーブ派の画家の作品は、1920年代あたりから画廊などで展示されるようになり、徐々にナイーブ派への関心は高まり、その傾向は現代の画家たちに受け継がれています。

本展は1984年に始まった「国際ナイーブ・アート・サロン」展に出展している、フランス・ナイーブ協会に属する現代の画家29名の作品84点を展示します。身近な人々や動物、どこか懐かしさを感じる風景、物語や空想の世界など、心の思うままに描かれた世界をお楽しみください。

各種イベント開催予定

美術講演会「ナイーブ派の絵画」

日 時：8月3日（日）午後2時～
講 師：向山富士雄（当館館長）
場 所：美術館研修室
定 員：50名
参加料：入館料を含む
（7月19日（土）午前9時30分より受付）

担当学芸員によるギャラリートーク

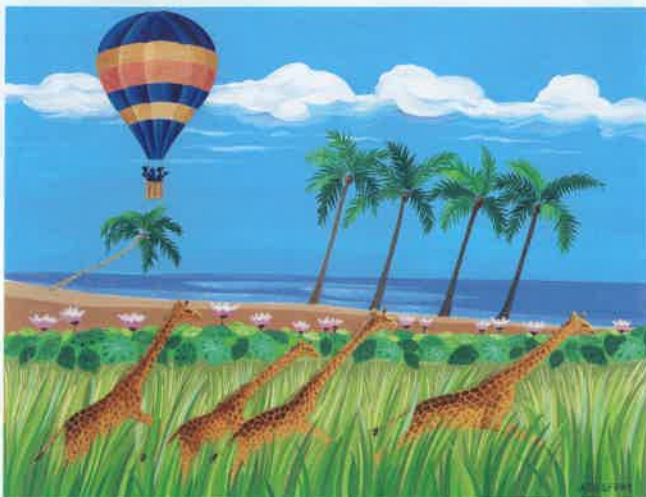
日 時：8月9日（土）午後2時～
場 所：美術館展示室
参加料：入館料を含む（申込不要）

中高生によるアートレクチャー

日 時：7月26日（土）
午前10時～、午後2時～
場 所：美術館展示室
参加料：入館料を含む（申込不要）



マルチヌ・ニコラ《家路》



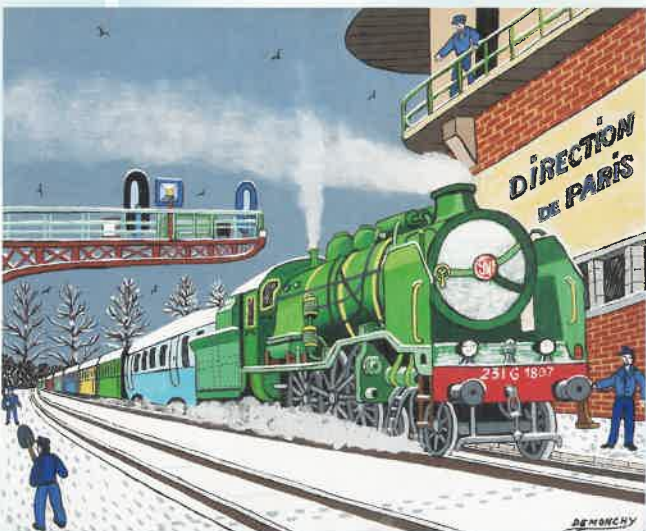
ジャクリーヌ・デフレイ《駆けるキリン》



クセニア・クリヴォノシェーナ《赤ずきん》



ロザリオ《羊飼》



アンドレ・デモシン《ノルマンディ・リズュー駅発のパリ行き列車》

交通のご案内

- 電車・バス JR中央線 甲府駅下車（バス利用35分）
山梨交通バスターミナル
西野経由小笠原下町行き「市立美術館」下車
十五所経由御沢営業所行き「戸田町」下車 徒歩10分

- 自動車 県道42号線沿い
中央自動車道 甲府昭和ICより20分 県道42号線沿い
中部横断自動車道 白根IC・南アルプスICより5分 県道42号線沿い



公式HP



Facebook



Instagram

*展覧会、各イベントは延期または中止になる可能性があります。
ご来館前に当館ホームページ等をご確認ください。



南アルプス市立美術館
MINAMI ALPS CITY MUSEUM OF ART

〒400-0306
山梨県南アルプス市小笠原1281
TEL 055-282-6600 FAX 055-282-6601

